

第2回 アドバイザリーボード（R1.9.19開催）の概要

資料3

本ボードでは、「神戸宣言」に基づき、各構成団体が自主的な取組みとして策定する計画等に対し、専門家による助言等を行っている。第2回アドバイザリーボードの開催に当たっては、近年、製造業における災害が増加していることを踏まえ、各団体においては、各業界における労働災害の発生状況を分析し、当該分析を踏まえた計画等を策定している。

4つの経営理念	構成員の主な取組	主なアドバイス
1 経営層のリーダーシップ 2 安全への投資の促進	<ul style="list-style-type: none">●会長トップメッセージの発出●業界としての基本方針の制定●理事会、労働安全衛生部会等の開催●会員各社の実情に応じて、個別の年間計画等に反映●リスポンシブル・ケア（RC）活動の実施	<ul style="list-style-type: none">●トップの関与は重要。トップが集まって、業界全体の安全衛生方針を決める場の設置があればよい。●個社に任せるのではなく、団体がリーダーシップを取って、業界全体で進めるとよい。●リスポンシブル・ケア（RC）活動をPRし、広く展開していただきたい。
3 安全人材の育成や安全教育の拡充	<ul style="list-style-type: none">●「産業安全塾」、各種研修会の開催●経験年数の浅い作業員への安全対策の取組●業界としての安全衛生教育体系の検討・制定	<ul style="list-style-type: none">●「産業安全塾」は、産・官・学が関係しており、人材育成のみならず、ネットワークづくりにも寄与しており、他業界でも参考にして欲しい。●安全衛生教育体系を制定することは有用。●資格制度を設けて安全プロフェッショナルを育成してはどうか。
4 業界内外への共有	<ul style="list-style-type: none">●安全衛生大会の開催●管理監督者体験交流会等の開催●安全衛生表彰●安全統計の作成・分析●災害事例の水平展開●業界としての設備安全基準の検討・制定●異業種間交流会の実施	<ul style="list-style-type: none">●他企業の取組を共有することは好事例。今後は他業界への水平展開も進めてほしい。●安全表彰受賞事業所の活動事例を集めた「ベストプラクティス集」に学ぶことは良い取組である。●強度率は自己点検評価として有効である。リスクアセスメントや機械設備対策を実施し、強度率を下げる努力をしてほしい。●事例や統計の分析結果の共有は重要である。●ICT等デジタル技術を活用した安全対策の情報共有を進めてほしい。

<総括>

- 「4つの経営理念」は、業界の枠を超えた協調領域である。業界を越えて進めていくことが重要であり、他業界の好取組を学ぶ場合は、非常に有意義なことである。
- 「人材育成」についても業界全体で方針を決め、共有化しながら展開して行ってほしい。
- 災害の重篤度を示す「強度率」を他業界とも比較し、業界全体として下げる努力をして行ってほしい。